

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2005-206455

(P2005-206455A)

(43) 公開日 平成17年8月4日(2005.8.4)

(51) Int. Cl. ⁷	F I	テーマコード (参考)
C04B 41/89	C04B 41/89 A	2E110
C04B 41/82	C04B 41/82 A	2E220
C09K 3/18	C09K 3/18 104	4H020
E04F 13/14	E04F 13/14 103A	
E04F 15/08	E04F 15/08 A	

審査請求 未請求 請求項の数 35 O L (全 49 頁)

(21) 出願番号 特願2004-365223 (P2004-365223)
 (22) 出願日 平成16年12月17日(2004.12.17)
 (31) 優先権主張番号 特願2003-423953 (P2003-423953)
 (32) 優先日 平成15年12月22日(2003.12.22)
 (33) 優先権主張国 日本国(JP)

(71) 出願人 503002662
 小川 一文
 徳島県板野郡土成町土成字寒方50-3
 (72) 発明者 小川 一文
 徳島県板野郡土成町土成字寒方50-3
 Fターム(参考) 2E110 AA65 AB04 AB05 AB22 AB23
 GA34W GB28W
 2E220 AA13 AA15 AB02 AB03 AB14
 GA26X GB26X
 4H020 BA32 BA36

(54) 【発明の名称】 防汚性窯業製品とその製造方法

(57) 【要約】

【課題】 従来の化学吸着膜を用いた撥水撥油防汚窯業製品は、吸着剤と基材表面との化学結合のみを用いているため、耐摩耗性に乏しいという課題があった。また、製造時に塩酸が多量に発生するという課題があった。

本発明は、撥水撥油防汚機能が要求される窯業製品において、耐摩耗性および耐候性、水滴離水性に優れた撥水撥油防汚窯業製品を提供することを目的とする。さらに、前記窯業製品をほとんど塩酸を発生させることなく製造して提供することを目的とする。

【解決手段】 前記目的を達成するため、本発明の窯業製品の製造には、アルコキシシラン系界面活性剤を用い、高耐久性の撥水撥油防汚性被膜を窯業製品表面に脱アルコール反応で形成する。また、本発明の窯業製品は、前記被膜に少なくともフッ化炭素基と炭化水素基とシリル基を主成分とする物質とシロキサン基を主成分とする物質を含む複合膜を少なくとも1層含ませておくことを要旨とする。

【選択図】 図1

